

更新研修【事前課題】振り返りシート 記載にあたって

更新研修は、振り返りシートによる自己検証結果を演習で共有し、他者の意見や取り組みを参考に今後どのように取り組んでいくか具体策を持ち帰り、サビ児管としてブラッシュアップすることが目的です。

更新研修の受講にあたっては、現在サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者（以下サビ児管）であるか、実践研修終了後に2年以上の、サビ児管または相談支援専門員または管理者としての**実務経験が必要**となっています。

【事前課題】振り返りシートに向き合うことから更新研修は始まります。また、事前課題作成後、上長の確認をもらってください。上長がいらない場合（受講生自身が管理者等の場合）は、法人内外の相談支援専門員やサビ児管等に依頼してください。無所属等にてどうしても誰もいない場合は、その旨を研修日の2日前までに、事務局に連絡してください。

空白が多い等の不備や、他の人の内容と酷似している場合は、再提出を求めることもあります。

【事前課題1】

●サビ児管業務を行う上で事業所の環境（風土）を整えることが必要です。そこで、現在の組織体制やチームワークの良いところとその理由を記載してください。「組織体制」「チームワーク」のワードで調べてみると自己検証の一助になると思います。

◎事業所としての自己検証ですが、法人全体で組織体制の取組があるところはそれを記載してください。チームワークについても同様です。

◎組織規模の大小が、サビ児管の立ち位置に影響を及ぼすかもしれませんが、組織規模等によってサビ児管としての業務や役割が変わるものでもありません。

(例)理念や事業計画共有の工夫、長のリーダーシップとボトムアップ型運営、オンラインやICT、SNSの活用、会議の工夫（出席者、時間帯などの工夫）、研修や資格取得助成などなど

【事前課題2】

●サビ児管個人としての自己検証です。

1. 個別支援計画の作成について～(3)利用者への説明と同意について

言語的コミュニケーションが難しい利用者へは、説明の工夫や意思決定支援などを振り返ってください。

3. 会議について

雇用形態や勤務体制等で会議開催が難しい場合は、他の方法を工夫してサービス（支援）向上や改善のための検討や情報共有ができているかを振り返ってください。

4. 他の従業者に対する技術指導及び助言について

「他の従業者」とは、同一法人・事業所のスタッフ（職員・社員・・・）のことをいいます。

【事前課題3】

●サビ児管として、連携に関する自己検証です。

3. 担当者会議の開催について

担当者会議は相談支援専門員が開催するものばかりではなく、必要に応じてサビ児管も開催できるものです。

4. (自立支援)協議会について

(自立支援)協議会は地域によって様々な形があり、ここでいう(自立支援)協議会は、全体会、部会、委員会等のすべてを指します。

【宿題】(自立支援)協議会について調べることについて

●【宿題】は、研修受講の必須要件である【事前課題】の中に位置づけられています。従いまして【宿題】をやっていなければ【事前課題】をすべてやっていないということになります。（修了証が発行できません）